

令和8年度 外国語 科  
教科名等

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語コミュニケーション I	1	A B C D E F	3	必修修	117 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	Revised BLUE MARBLE English Communication I 第一学習社
使用教材等	Revised BLUE MARBLE English Communication I WORKBOOK フェイバリット英単語・熟語コーパス3000 Focus on Listening basic Joy Reader ①～③ The Wizard of Oz, Three Fairy Tales from Oscar Wild, NEWSBREAKS

科目の目標

学習目標	<p>【知識及び技能】 テキストで扱う文法・語彙・慣用表現の用法や意味を十分に理解し、内容を読んだり聞いたり書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 テキストで扱う現代の世界の諸問題について、文脈や背景知識を活用して内容を深く理解し、自分の意見を持ち、他者と意見を共有できる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習・復習、小テスト・課題等に日々粘り強く取り組んだり、テキストの背景知識や使用される表現について自ら積極的に調べるなど本文の理解に必要な情報を粘り強く得ようとする。</p>
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	<p>Lesson 1 Visitors' Voices: Talking About Japan Lesson 2 Fashions as a Mirror of the Times Lesson 3 Learning to Accept Differences</p> <p>The Wizard of Oz, NEWSBREAKS (夏休み課題)</p> <p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。</p> <p>【思】 各レッスンそれぞれの学習のねらいである、「外国人から見た日本の魅力」「ファッションの歴史とこれから」「差別はなぜ起きるのか」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を持ち、クラスメートと話し合うことができる。</p> <p>【態】 予習・復習、小テスト等によりしっかりと取り組む。テキストの背景知識や使用される表現について自ら積極的に調べることができる。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付けている。</p> <p>【思】 各レッスンで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を理解し、自分なりの意見を持ち、クラスメートと話し合う。</p> <p>【態】 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を把握し、背景知識を自ら調べて内容を理解しようとする。</p>
2	<p>Lesson 4 A Changing Behavior in Unique Ways Lesson 5 A Journey to Peace Lesson 6 What can We Eat in Space? Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets Reading2 Tracking Santa Around the World (冬休み課題)</p> <p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。また、身に付けた表現を使って、英訳ができる。</p> <p>【思】 各レッスンそれぞれの学習のねらいである、「人々の行動を良い方向に変える仕掛け」「ルワンダ大虐殺」「宇宙食の歴史と宇宙での食料生産」「野生動物の秘密に迫るバイオロギング」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を発表し、クラスメートと話し合うことができる。</p> <p>【態】 予習・復習、小テスト等によりしっかりと取り組む。テキストの背景知識や使用される表現について自ら積極的に調べ、内容を深く理解することができる。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付け、活用している。</p> <p>【思】 各レッスンで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を深く理解し、自分なりの意見を持って、クラスメートに発表する。</p> <p>【態】 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、必要な背景知識を自ら調べて深く内容を理解しようとする。</p>
3	<p>Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists Lesson 9 Surviving in the Information Age Lesson10 The Spirit of Zen: Less is More Readin1 Swans Mate for Life Three Fairy Tales from Oscar Wilde (春休み課題)</p> <p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して、本文を聞き、読むことができる。身に付けた表現等を活用して短い英作文ができる。</p> <p>【思】 各レッスンそれぞれの学習のねらいである、「オーバーツーリズムの解決策」「膨大な情報から真実にたどり着く方法」「禅が世界に与えた影響」を理解し、その理解に基づいて自分の意見を発表し、クラスメートと話し合いを深められる。</p> <p>【態】 予習・復習、小テスト等によりしっかりと取り組む。テキストの背景知識や使用される表現について知り、テキストの内容に付随する諸問題についても関心を持って調べることができる。</p>	<p>・内容理解にかかわる読解力、背景知識の伸長</p> <p>・内容を理解し、他者に発表するために必要な単語力、リスニング力、速読力の伸長、</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知】 各レッスンで扱われている文法・語彙・慣用表現の用法や意味を理解して身に付け、積極的にアウトプットする。</p> <p>【思】 各レッスンで扱われる諸問題について、文脈や背景知識から内容を深く理解し、自分の意見をクラスメートと共有し、諸問題の解決に関心を持つ。</p> <p>【態】 予習・復習をしっかりと行い、小テストや課題等に目標を定めて取り組み成果を出す。テキストの内容理解に必要な文脈を正確に把握し、背景知識を自ら調べて深く内容を理解し、それをクラスメートとも共有しようとする。</p>

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。